

新型コロナウイルス感染拡大に対する取組

新型コロナウイルス感染拡大を受け、武漢からの邦人等帰国支援に係る災害派遣のほか、政府の水際対策強化や市中感染拡大防止に係る災害派遣等を実施するとともに、自衛隊大規模接種センターの設置・運営により、国民のワクチン接種を促進するなど新型コロナウイルス感染症対策を実施した。今後も、防衛省・自衛隊は、新型コロナウイルスに関する支援ニーズに最大限応えられるよう、迅速かつ適切に対応していく。

【具体的な活動内容】

a 市中感染拡大防止に係る活動【令和2年4月3日～】

都道府県知事等の要請による活動

- ・ **医療支援**：看護官等による診療補助、医官及び看護官による検体採取 等
- ・ **宿泊療養者に対する緊急支援**：配食支援、退所時の消毒 等
- ・ **病院から民間宿泊施設への陽性者（無症状・軽症）の輸送支援**
- ・ **教育支援**：感染予防策について、自治体職員・民間宿泊施設従業員等への教育を実施
- ・ **離島からの患者空輸**

b 自衛隊大規模接種センターの設置・運営【令和2年5月24日～11月30日】

東京及び大阪に新型コロナウイルスワクチンの大規模接種センターを設置し、約6か月間運営予定

c 邦人等帰国支援・ダイヤモンド・プリンセス号における活動

【令和2年1月31日～同年3月1日】

- ・ 邦人等の帰国のため武漢へ派遣されたチャーター機内における機中検疫支援
- ・ クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」船内における生活・医療支援
- ・ 下船者の輸送支援

d 水際対策強化に係る活動【令和2年3月28日～同年5月31日】

- ・ 帰国者・入国者に対する検疫支援
- ・ 帰国者・入国者の一時滞り場所である宿泊施設までの輸送支援
- ・ 空港近隣の宿泊施設における生活支援

【活動実績】

a 市中感染拡大防止に係る活動（令和3年9月7日現在）

	支援内容	実施都道府県
教育支援	自治体職員等に対する感染防止教育	北海道、岩手県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県 計33都道府県 延べ被教育者数：約2,410名
宿泊療養者に対する緊急支援	宿泊施設における患者への食事配膳等	北海道、福島県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、兵庫県、高知県 計8都道府県 延べ支援対象者数：約760名
輸送支援	病院から宿泊施設間の患者輸送	茨城県、埼玉県、石川県、滋賀県、福岡県、沖縄県 計6県 延べ支援対象者数：約90名
医療支援・検体採取支援	医療支援、PCR検査のための検体採取	北海道、宮城県、大阪府、長崎県、沖縄県 計5道府県
天幕展張維持管理支援	野外でのPCR検査に必要な天幕の展張、維持管理	宮城県 計1県
患者空輸	離島で発生した陽性患者の航空機による空輸	北海道、東京都、長崎県、鹿児島県、沖縄県 計5都道府県 延べ支援対象者数：約100名
資器材提供	自衛隊が保有するCT診断車による診断	長崎県 計1県
合計		35都道府県

b 自衛隊大規模接種センターの設置・運営

令和3年5月24日～同年11月30日までの間、東京約130万回、大阪約65万回、合計約196万回のワクチン接種を実施。

c 邦人等帰国支援・ダイヤモンド・プリンセス号における活動

- ・ **邦人等帰国支援**：第2便以降第5便まで、看護官が1便当たり2名ずつ乗り込み、支援を実施
- ・ **船内における医療支援**：医官による健康診断、診察、薬の処方及び自衛隊救急車による患者の搬送支援等を実施
- ・ **船内における生活支援**：生活物品等の物資の搬入・仕分け、船内の共同区画の消毒支援等を実施
- ・ **下船者の輸送支援**：下船を希望するハイリスク者、チャーター機による帰国者等約1,700名の輸送支援を実施

d 水際対策強化に係る活動

- ・ **検疫支援**：約46,000名の帰国者・入国者のうち、約20,400名の検体（全体の約44%に相当）を採取
- ・ **輸送支援**：延べ約6,110名を輸送
- ・ **生活支援**：約17,180名の帰国者・入国者に対する生活支援（食事の配分等）を実施

